

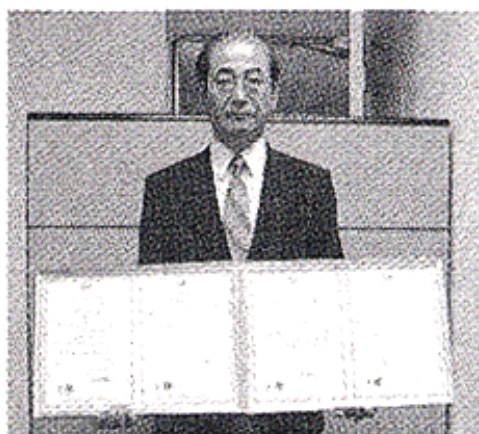
三酸化アンチモンメーカーの日本精鉱はこのほど、品質に関する国際規格ISO9001の認証を全社で取得した。環境に関する国際規格ISO14001は00年3月に取得しており、「これで『品質』と『環境』に裏づけられた製品供給態勢が整った」と田村敏洋

## 中国メーカーとの差別化を図る

社長。品質と環境の両方を取ったのは同業界で初めて。同社は本年6月、住友金属鉱山から酸化アンチモン事業を買収することになり、新規難燃助剤の開発や高純度金属アンチモンの量産態勢を整えるなど、トップメーカーとしての事業基盤を



中瀬製錬所の事務所棟と2つの認証を手にする田村社長



ようになった。

同社は昨年6月からISO9001の取得に向けて活動を開始。田村社長を最髙責任者にしてプロジェクトチームを

との競合で厳しい環境に置かれている。このため、今回のISO9001の取得により、品質と環境の両面から中国メーカーと差別化できる。ロジエクトチームを充足させ、実務の陣頭指揮は生産拠点の中瀬製錬所（兵庫県養父郡）の所長が取っていた。

強化してきた。しかし、その一方では、プラスチックの難燃助剤に使われる汎用グレードの製品が、中国メーカー